



万博で「和歌山百景」



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025

大阪・関西万博

期 間 2025年4月13日(日)～10月13日(月)
開場時間 午前9時～午後10時 会 場 大阪 夢洲(ゆめしま)



ほんものの和歌山にふれる旅

大阪・関西万博の会場から和歌山市までは電車で約1時間30分。和歌山県は多様な自然景観が楽しめ、そこで栄えた豊かな歴史や文化がいっぱい。また、関西でも有数の温泉数を誇り、多彩な温泉が湧き出しています。海の幸、山の幸、そしてご当地グルメも豊富。絶景観光から歴史・文化、温泉、グルメ、体験まで旅の醍醐味がぎゅっと詰まっています。そんな和歌山の基礎知識と、これだけ押さえておけばまずOKの定番の観光スポットや情報を紹介します。

和歌山市近郊エリア



和歌山城や根来寺など史跡が点在。万葉集に詠われた和歌浦の景勝地ほか、紀美野のパン屋やジェラートなど行く価値ありのグルメも満載。ネコ駅長が勤務する貴志駅も人気。

高野山エリア(ミシュラン三つ星)



空海によって開かれた高野山は寺院や史跡などの見どころがいっぱい。山麓には表玄関となる女性のための寺院や女神の社があり、里には清らかで厳かな雰囲気が漂います。

有田・日高エリア



海岸部には風光明媚な景色が広がり、内地には深い山脈が広がります。特産品のブランド・有田みかんにはじまり湯浅醤油、金山寺味噌、クエ、南高梅といったグルメも目白押し。

白浜エリア



美しい海岸線、歴史ある温泉、そして多様なレジャーの数々。中でも人気は可愛いパンダが暮らすテーマパーク。動物たちと触れ合った後は絶景、温泉、グルメと旅を心ゆくまで満喫。

串本エリア

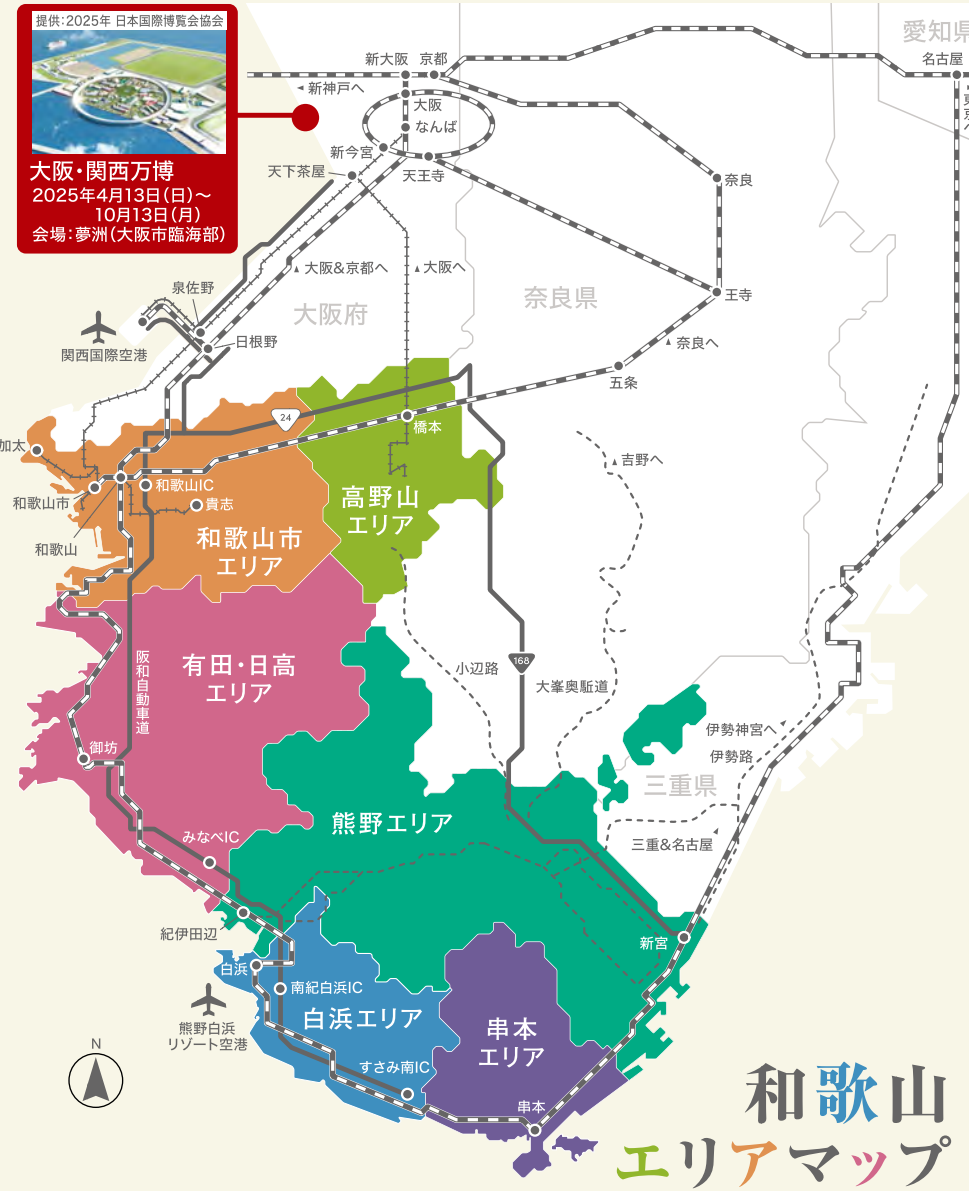


本州最南端に位置し、特徴は温暖な気候と豊かな自然。見どころは美しい海岸線と奇岩、海と温泉、歴史と文化。さらに世界を魅了するサンゴ礁。国内有数のダイビングスポットです。

熊野エリア(ミシュラン三つ星)



熊野詣の中心地で、世界遺産の熊野三山が鎮座。近くには温泉があり参詣者の疲れを癒します。ほかに鯨専門の博物館や日本唯一の飛び地の村で筏下りなど、唯一無二の体験。



和歌山 エリアマップ

知らないオドロキが色々
聖地リゾート!!!!
和歌山
知らないオドロキが色々々々
和歌山県公式
観光サイト
<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>

和歌山県 万博推進課 〒640-8585 和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2703 E-mail e0003001@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県
万博特設WEBサイト
「和歌山百景」を開設!



和歌山県
万博推進課公式
Instagram



万博へ行こう！

「大阪・関西万博」は4月13日から10月13日まで、大阪の夢洲で開催される国際博覧会です。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。世界の多様な価値観が交流しあい、新たなつながりや創造を促進。地球規模の課題を乗り越え、いのちを守り、いのちの在り方や生き方を見つめ直すことで、未来への希望を世界に示します。

開催概要

名 称：2025年日本国際博覧会
(略称「大阪・関西万博」)
期 間：2025年4月13日(日)～10月13日(月)
場 所：大阪 夢洲(ゆめしま)
テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン
コンセプト：未来社会の実験場
公式キャラクター：ミャクミャク
会場の広さ：約155ha(甲子園球場40個分)
参加表明国・地域：158か国・地域 ※2025年2月現在

ぜんぶのいのちと、
ワクワクする未来へ。

大阪・関西万博
公式キャラクター
ミャクミャク
©Expo 2025



全長約2km、世界最大級の木造建築物で本万博のシンボル「大屋根リング」
Provided by: Japan Association for the 2025 World Exposition

万博とは

「万国博覧会」の略称。日本では愛知県の愛・地球博に続き20年ぶりの開催となります。世界各地からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界中の英知が集結します。

2025 万博

詳しい情報は、
2025大阪・関西万博
公式Webサイトから▶



TEAM EXPO
パビリオン

大阪・関西万博 全景図

関西パビリオン

夢洲駅

国内/民間パビリオン

海外パビリオン等

シグネチャーパビリオン

EXPOアリーナ
「Matsuri」

EXPOメッセ
「WASSE」

ウォータープラザ

EXPOホール
「シャインハット」

「未来社会の実験場」は遊びと学びが融合した体験やワクワクがいっぱい！

▶各界の最前線で活躍する8人の
プロデューサーが主導するパビリオン

シグネチャーパビリオン

「いのち」について考え、その概念をアップデート。ロボット工学の権威・石黒浩氏やメディアアーティストの落合陽一氏など、8人のプロデューサーが独自の「いのちの輝きプロジェクト」を展開。壮大なプロジェクトで未来社会への展望を深めます。



©FUTURE OF LIFE / EXPO2025

8つの
シグネチャー
パビリオンの
紹介はこちら



▶日本館をはじめ、
国内13の企業や団体等が出展

国内／民間パビリオン

「iPS心筋シート等の最新テクノロジー」や「実物大の全高16.72mガンダム像」、「離れた場所と空間そのものをつなぐ空間伝送技術」など万博のテーマに沿った先端技術の展示や体験等を提供。未来への原動力となる魅力的なコンテンツがいっぱい。



提供：パナソニック ホールディングス株式会社

国内／民間
パビリオンの
紹介はこちら



▶150を超える国・地域・国際機関が
最新技術や独自の文化を紹介

海外パビリオン

各国の趣向を凝らした建物が見どころの一つ。それぞれ独自のテーマで出展します。各国の多様なライフスタイル、技術革新、伝統、そして未来に向けた取り組み等を体験。世界の今を知るとともに、多様な価値観を持つ人とのリアル国際交流も醍醐味です。



German Pavilion - (c) MIR_LAVA_facts and fiction

海外パビリオンの
紹介はこちら



▶関西各地の魅力を発信！
もちろん和歌山県も主役の一部

関西パビリオン

関西広域連合としてパビリオンを出展し、関西各地の魅力を発信。和歌山県も主役の一部を担います。共通テーマは「いのち輝く関西悠久の歴史と現在」。本県を含む9府県が独自の展示を行い、創意工夫を凝らした内容で国内外に関西をPRします。



提供：関西広域連合

和歌山ゾーン出展
詳しくは中面に掲載

各府県ゾーンの
展示内容はこちら



会期中の販売チケット

チケット概要		大人 (満18歳以上)	中人 (満12・17歳)	小人 (満4・11歳)
一日券	会期中いつでも 1回入場可	7,500円	4,200円	1,800円
平日券	「平日」に1回入場可能	6,000円	3,500円	1,500円
夜間券	会期中いつでも 17時以降1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

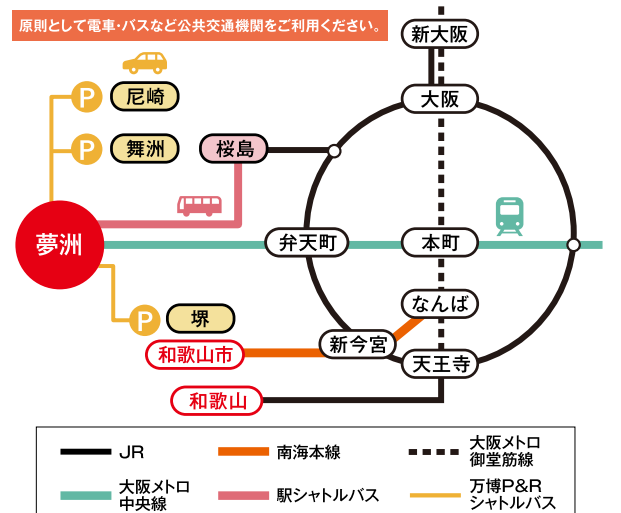
※価格は税込です。※年齢は2025年4月1日時点の満年齢です。3歳以下の方は無料となります。※入場チケットは、原則電子チケットとなります。スマートフォンやパソコンから購入できます。また、旅行代理店や各種プレイガイドなどからも購入できます。※来場にあたっては原則来場日時予約が必要となります。※団体割引券もあります。※チケットの詳細については協会公式WEBサイトをご確認ください。

詳細・チケット購入は
こちらから

万博チケット



アクセス方法



「上質な和歌山」が集う。



Stage ステージ

多彩なコンテンツで魅了
和歌山の魅力をステージで展開

紀伊山地の巨木を連想させる映像タワーの
トーテムをバックにステージを設けて「和歌山の
今を生きる人」に焦点を当てたコンテンツを用意。
祭りや世界遺産、伝統芸能などの多様なパ
フォーマンスや展示を行います。レギュラーコンテ
ンツのほか、テーマウィークと題して期間中に内容
を変更。いつ来ても新しい和歌山に出会えます。

豊かな食文化が織り成す プリミティブで特別な一品

「森を食べる」。悠久の歴史を抱く深遠な森
や清涼な水。お菓子の原点「橘」ゆかりの橘
本神社。和食に欠かせない醤油のルーツ。そ
んなおおらかで豊かな食文化を育んだ和歌
山。各々に伝統と技を受け継いだ職人たちが、
プリミティブな森を忍ばせた特別な一品を仕上
げます。感性豊かな食を通して、森や里山の未
来を見つめます。



森と恵みのペアリングドリンクセット

「よみがえりの旅」を映像と音で オーディオビジュアル体験

異なる宗教や文化が融合して新しい形を
つくり、分け隔てなく迎える懐の深い和歌山。
「寛容の精神」をもって、全てを受け入れ、融
合・共存してきた和歌山を、熊野詣にならい
「未来」―「過去」―「現在」―「未来・よみが
えり」の構成のもと巡ることで、和歌山や世界
や自分をみつめなおす「よみがえりの旅」をご
体験ください。

和歌山ゾーン
来場予約は
こちらから



和歌山百景

— 靈性の大地 —

“上質”のつまった和歌山

和歌山県は、関西広域連合が設置する関西パビリオンに「和歌山ゾーン」を出展します。

和歌山県の紀伊山地は、神話の時代から神々が鎮まる特別な場所であり、人々は寛容の精神をもって、全てを受け入れ、融合・共存させてきました。その精神文化は、多様な価値観を尊重し合う「持続可能な世界」を示唆してくれます。

この和歌山県の文化・芸術・自然・産業やそれに携わる人々を、和歌山県のもつ精神世界と実存世界の様々な表情を、「和歌山百景」をテーマに、上質な空間の中に美しく表現します。

—— 空間構成 ——

和歌山ゾーンのシンボルであり、紀伊山地の巨木を彷彿とさせる映像装置「トーテム」は紀州塗りで仕上げられ、食の体験を供するカウンター・バーとチェアにも紀州材を使用。そのほか空間を構成する様々な要素に、紀州桐箆簀・高野口パイル・高野組子細工等の伝統工芸や素材を活用し、世界に誇る和歌山の魅力を空間に凝縮します。



紀州塗り



紀州高野組子細工



高野口パイル織物



紀州材



和歌山在住作家による版画

空間



和歌山ゾーン構築総合ディレクター

吉本英樹

Hideki Yoshimoto

1985年和歌山県生まれ。2015年ロンドンにてデザインスタジオTangentを設立。2020年東京大学・先端科学技術研究センターに先端アートデザイン分野を共同設立し、ロンドンと東京をベースに活動。デザインとエンジニアリングの発展的な融合を得意とし、近年では日本の伝統工芸と先端技術を繋ぐ国際的なイニシアティブ「Craft x Tech」を創立。伝統工芸とのコラボレーションによるアート作品を積極的に発表するなど、日本文化の進化・継承にも取り組んでいる。

映像



Yusuke Murakami

ロンドン拠点のビジュアルアーティスト。英国のHingston Studioに8年間在籍し、2020年にデザイン集団「3AND」をロンドンで設立。テクノロジーからデザインまで活躍の幅は広く、世界的なアーティストやブランドとのコラボレーションを手掛ける。ミラノファッションウィーク2023でのDISELショーにおける巨大映像演出ほか、BMWのアートインスタレーションなど代表作は多数。さまざまな境界線を「ブラー」させることで独自の表現を生み出し、新たな表現の可能性を探索。

食



加藤峰子

Mineko Kato

ものづくりに興味を持ち、食の分野からパン・お菓子の道へ。イタリアのミシュラン星獲得店にてパストリーシェフに。2018年よりFAROのシェフパティシエを務め、日本の自然や和のハーブをリスペクトしたデザートを提案。「Gault&Millau2022」にてベストパティシエ賞、「LA LISTE JAPANESE AWARDS 2024」にてトップパティシエ賞ほか、数々のタイトルを獲得。環境や動物に負担をかけない食生活を通して“心豊かに楽しく暮らしながら地球や社会の美しさも守る”取り組みも追求。

Wakayama in Expo

常設の「和歌山ゾーン」のほかにも、期間限定の多様な催事イベントも開催。

豊かな自然や特産品など地域の魅力を肌で体感！

和歌山の地域魅力「百景」

開催日	5/6(火)～18(日)、9/10(水)～15(月)
開催場所	関西パビリオン 多目的エリア
内容	7つの地域振興局と市町村が連携し、各地域の魅力を発信

海南・海草地域の地場産業である紀州漆器をはじめ、伊都地域で受け継がれてきた伝統工芸や和の文化、和食の源流として知られる日高地域の食文化、また日本三古湯に数えられる南紀白浜温泉の足湯など和歌山県の各地域ならではの自然、食、地場産業といった魅力ある「百景」を展示・体験等で余すところなく発信します。



南紀白浜温泉の足湯



日高地域由来の和食

僕たち私たちが考える未来へのアクション

共創チャレンジ

開催日	5/3(土)～5(月)
開催場所	TEAM EXPOパビリオン
内容	7つの地域振興局と県内の大学生等が連携して、地域の魅力創出や課題解決に向けた企画をステージ発表、展示

SDGs達成に向けた活動など、自分たちが考える未来への行動を万博会場が発信するプログラムです。本県では、高等教育共創コンソーシアム和歌山に所属する学生と振興局が連携し、地域の魅力創出や課題解決に向け活動。「紀の川エリアサイクリングによる誘客・周遊促進」や「移住者受入れ先進地における持続可能な地域づくり」、「有田川町清水地域への誘客促進」等をテーマに、発表・展示を行います。



フィールドワークの様子



和歌山の地場産業等の歴史や伝統技術を世界へ発信

和歌山WEEK

開催日	4/30(水)～5/3(土)
開催場所	EXPOメッセ「WASSE」
内容	日本酒や梅酒の試飲、県産品の試食販売、和歌山ニットや高野口パイルの展示、ものづくり体験など

催事タイトルが「Wow!Wakayama!～未来へつなぐ、おどろきの国～」。「持続可能な産地づくり」をコンセプトに、和歌山の「食」や「ものづくり」等の伝統文化を体験いただき、魅力ある和歌山の産業を世界へ発信します。



和歌山梅酒



和歌山ニット

五感で和歌山の歴史文化を感じるパフォーマンス

和歌山DAY

開催日	10/3(金)
開催場所	EXPOホール「シャインハット」
内容	和歌山の歴史・文化等の魅力を世界へ発信するステージ

1日限りの特別プログラム。「巨大スクリーン映像」と「光のパフォーマンス」を合わせ、ダイナミックかつ没入感のある体験を提供します。県内高校生、県出身アーティストによる演奏やパフォーマンス、和歌山の歴史文化を表現したステージも披露。県内高校生、文化団体の作品展示や体験による文化発信も行います。



歴史文化の発信



学生によるパフォーマンス